



Deeply Disturbing

すでにポルノや政治への悪用例も

まるで本物！ AIによる「ディープフェイク動画」の衝撃

米国社会、そして世界全体にさらなる分断をもたらしかねない新たなテクノロジーに警鐘が鳴らされている。

AI技術によって、画像や映像を巧妙に合成・加工する「ディープフェイク」と呼ばれる技術だ。

この技術を使えば、例えばある政治家のスキャンダラスな画像・映像をでっち上げ、拡散させることで、失脚に追い込むことなどが可能になるかもしれないと懸念されている。

本誌ウェブサイトでは、ニュース映像の視聴やボキャビルの音声を聴くことができます。詳細は別冊付録の裏表紙をご覧ください。

**ミゲル・マルケス記者の
発音と話し方の特徴**

アメリカ英語

速さ：★★★★ 発音：★★★★

語彙：★★★★ 総合：★★★★

[★聞き取りやすい↔★★★★難しい]

標準的なアメリカ英語。際立った癖やなまりはなく、滑舌もよい。米語特有の巻き舌風のrの発音や、リエゾン（音の連結）があるものの、語彙レベルはずば抜けて高度というわけではなく、内容から想像しやすい。



キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう



- | | | |
|---|------------------|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> dupe | [dʒʊ:p] | ～をだます、欺く |
| <input type="checkbox"/> disinformation | [disɪnfərméɪʃən] | 故意の誤報、デマ |
| <input type="checkbox"/> deception | [diséɪpʃən] | だますこと、詐欺 |
| <input type="checkbox"/> apply A to B | [əpláɪ] | AをBに当てはめる |
| <input type="checkbox"/> alter | [ɔ:ltə] | ～を変える |
| <input type="checkbox"/> intensify | [ɪnténsəfáɪ] | ～を強める、増幅させる |
| <input type="checkbox"/> stir | [stáɪ] | (感情などを)かき立てる |
| <input type="checkbox"/> misrepresent | [mɪsreprɪzént] | (事実などを)ゆがめて伝える |
| <input type="checkbox"/> detect | [dítékt] | (悪事などを)見抜く、(うそなどに)気づく |
| <input type="checkbox"/> telltale sign | [téltéɪl] | それとわかる特徴、証拠となる印 |

These days, / it is easy to get duped by disinformation and something called deepfake videos, / because of advancements in AI. // But for the US government, / combating this art of social-media deception has become a matter of national security. // Miguel Marquez has more. //

* * *

Which Barack Obama speech is real? // Which is fake? //

“I visited with the families of many of the victims on Thursday.” // (Barack Obama, former US president)

The one on the right: fake. // Researchers at the University of Washington took Obama speaking / and made it look like he said the same thing at a different time and place. //



オバマ元米大統領。どれが本物でどれが偽物か、見分けるのはほとんど不可能だ

deeply disturbing:

《タイトル》ひどく不安にさせる、非常に気掛かりな

dupe:

~をだます、欺く

disinformation:

故意の誤報、デマ

deepfake:

ディープフェイク ▶ deep learning (深層学習) と fake (偽物) を組み合わせた造語。人工知能を用いた画像・映像合成の技術。

advancement:

進歩、発達

AI:

= artificial intelligence
人工知能

combat:

(悪事などを) なくそうとする、抑制するために闘う

art:

技術、技巧

deception:

だますこと、詐欺

a matter of:

~の問題

national security:

国の安全、国家安全保障

fake:

①偽の ②偽物、いかさま

visit with:

~の元を訪ねる

victim:

犠牲者、被害者

former:

前の、かつての

president:

大統領

take...and do:

...を使って~する

researcher:

研究者

ニュース1では、スラッシュリーディングおよびスラッシュリーディングの参考として、情報・意味のまとまりごとにスラッシュ (/) を入れています

昨今は / デマや「ディープフェイク動画」と呼ばれるものに簡単にだまされてしまいます / 人工知能が進歩したために。 // そして米国政府にとって / このソーシャルメディアのだましテクニックとの闘いは、国家安全保障の問題になっています。 // ミゲル・マルケス記者がお伝えします。 //

* * *

どちらのバラク・オバマ氏の談話が本物でしょうか。 // 偽物はどちらでしょう? //

「木曜日に多くの犠牲者の家族に会いました」 // (バラク・オバマ元米国大統領)

右側の映像が偽物です。 // ワシントン大学の研究者らがオバマ氏の談話の場面を使って / 彼が別の時に別の場所で同じことを言ったように見える映像を作りました。 //

理解のポイント

≫ ① の called は過去分詞。下線部は後ろから something を修飾している。

≫ ② の例のように、英語の but は日本語の「しかし」より逆接のニュアンスが弱く、「そして」「ところで」「ちなみに」「一方」などと訳す方がしっくりくる場合がある。